



朝晩の冷え込みが^{きび}厳しい季節になってきました。
 寒い冬は、暖かい室内で^{たん}暖をとりながら読書しましょう。
 みなさんからリクエストのあった本も^{にゅうか}入荷予定ですので、ぜひ図書館にも来て
 くださいね！

《 新着図書紹介 》



● 11月に入った本

- ・ 星に願いを 小学館 鈴木るりか／著
- ・ 知っておきたい 教科書に出てくる故事成語 1～3 汐文社 全国漢文教育学会／編
- ・ だから私は、明日のきみを描く スターツ出版 汐見夏衛／著
- ・ ぼくはいったいどこにいるんだ ブロンズ新社 ヨシタケシンスケ／著
- ・ 意味が分かれると怖いQ&A 河出書房新社 藤白圭／著
- ・ ひゃっか！ 角川春樹事務所 今村翔吾／著
- ・ 少年野球デキる選手はやっている打つ走る投げる守る レベル別、基本プレー 58 日本文芸社 井端弘和／著
- ・ ROAD to the TOP 頂への冒険 ベースボール・マガジン社 吉田正尚／著
- ・ 54字の物語 PHP 研究所 氏田雄介／編著
- ・ リカバリー・カバヒコ 光文社 青山美智子／著

ちょっとひといき



12月は、「師走^{しわす}」と呼ばれますね。

「師」が「走る」忙しい月という意味ですが、この「師」はお坊さんを指します。
 昔、12月にはお坊さんを家に呼んで、仏壇^{ぶつだん}にお経^{きょう}をあげてもら^{しゅうかん}う習慣があり、
 お坊さんがあちこちの家を走り回る日、つまり「師走」となったそうです。

何かと急ぎがちかもしれませんが、心にゆとりをもって過ごしたいですね！





《今月の一冊》

『星に願いを』

小学館 鈴木るりか／著

中学3年生になった花実のもとに、ある日見知らぬ女性から、祖母タツヨの訃報と、祖母が生前に書いていた1冊の日記が届きます。

母と絶縁状態にあり、数年前に初めて会って数日過ごしただけの祖母。日記には、祖母の壮絶な人生がつづられていて…。

届くことのなかった切ない想いに、涙する1冊です。



人が生まれて、生きて、死んでいくことは重い。今はそれしかわからない。目を閉じると、おばあちゃんの鉛筆の文字が次々と浮かんで消える。眠りが訪れるまで、私は指を組んで星に願った。

～本文より抜粋～



お知らせ



① 冬休みの貸出 はじまります

貸出期間： 12月11日（月） ～ 1月12日（金）

貸出冊数： 5冊

② 冬休み 図書館開館日

日にち： 12月25日（月）、12月26日（火）

時間： 10時 ～ 14時



1年間図書館だよりを読んでいただき、ありがとうございました！
来年もよろしくお願いたします。

